

9

日本語のきまり

学習日 /

要点チェック

- (1) 次のそれぞれの文の形を、あとから選び、記号で答えなさい。
- ① 星がとてもきれいだ。 □② あれが北極星だ。
 - ③ 月も白くかがやく。 □④ 宇宙は限りなく広い。
- ア 何が(は)―どうする(動作)。
 イ 何が(は)―どんなだ(様子・性質)。
 ウ 何が(は)―何だ(名前・所属)。

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |

- (2) 次のそれぞれの文の組み立てを、あとから選び、記号で答えなさい。
- ① 北風の吹く冬が来た。 □② 強い北風がごうごうと吹く。
 - ③ 鳥は飛び、魚は泳ぐ。 □④ 私はみんなが笑うと思った。
- ア 彼は父の帰りを待った。(単文)
 イ 彼は父が帰るのを待った。(複文)
 ウ 冬は寒く、夏は暑い。(重文)

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |

(3) 次のそれぞれの文の―線部のことばの意味をあとから選び、記号で答えなさい。

- ① 雪の降る夜は寒い。 □② 駅まで五分で行かれる。
- ア その文節が連体修飾語であることを示す。(連体格)
- イ その文節が部分の主語であることを示す。(主格)
- ウ 上の語に体言(名詞)の資格を与える。(体言代用)
- エ 自発
- オ 受け身
- カ 可能
- キ 尊敬

| |
|---|
| ① |
| ② |

確認問題

1 次のそれぞれの文の①主語と②述語を―線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。(部分の主語・述語は選ばない)

- (1) 少年たちは、イ各自のウ運命のエ重大さをオ感じた。
- (2) ア確かにイそのウ時エ彼もオそのカ場所にキいた。
- (3) ア砂のイ中にはウ小さなエ生き物たちがオたくさんカいる。
- (4) アヨウコさんのイお姉さんは、ウ私にはエいつもオ親切だ。
- (5) アハイジのイ住んでウいるエ山小屋にはオもうカ春がキ来た。
- (6) ア私たちのイ食べ物ウほとんどは、エ外国からのオ輸入です。
- (7) アこれはイ彼のウ莫大なエ財産のオ中のカほんのキ一部です。
- (8) アほんとうにイきれいだね、ウ向こうにエ見えるオ山は。
- (9) ア今朝、イ停留所でウバスをエ待ってオいたカ時、キ一人のクかわいい少女がコ犬をサ連れてシ散歩するのをス私はセ見た。
- (10) ア危ないイ目にウあいながらも、エ彼らはオようやくカ山のキふもとにクたどりついた。
- (11) アこのイ長いウつめはエひばりがオやわらかいカ土のキ上をク歩くのにケ役立ちます。
- (12) ア線路のイ上をウ歩いてエいたオ人たちのカ顔は、キショックとク疲れのためにコ青白かった。

| | | | |
|------|-----|-----|-----|
| (10) | (7) | (4) | (1) |
| ① | ① | ① | ① |
| ② | ② | ② | ② |
| (11) | (8) | (5) | (2) |
| ① | ① | ① | ① |
| ② | ② | ② | ② |
| (12) | (9) | (6) | (3) |
| ① | ① | ① | ① |
| ② | ② | ② | ② |

2 次のそれぞれの文の のことばが飾っていることばを、——線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) ねこはたくみに 大きな ねずみを とらえた。

(2) ふと 窓の 外を 見ると、 夕陽で 一面 真っ赤だった。

(3) あの 太くて 大きい 木は 五百年も 生きて います。

(4) もっと ゆっくり 本を 読みなさい。

(5) 明日から 待ち遠しかった 二学期が どうとう 始まります。

(6) 彼は たちどころに この 不思議な 現象に 対して 明確な 解説 を あたえた。

(7) 貴族たちは、 しだいに 自分たちの 家来で あった 武士に 勢力 を うばわれた。

(8) 庭先の 年老いた 黒い 松は、 父の 祖父が 植えた ものだと 聞いて ケ いる。

(9) なつかしい 私の ふるさとは、 北海道の 北の はしの 小さな 町です。

(10) 父は 笑いながら、 おこった 顔を して いる お母さんの 顔を 見つめた。

| | |
|------|-----|
| (6) | (1) |
| (7) | (2) |
| (8) | (3) |
| (9) | (4) |
| (10) | (5) |

3 次のそれぞれの文の に入る適切なことばを、あとから二つずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

(1) そこへ行くのですか。

(2) 彼は遅れてくるだろう。

(3) そこへ行ってはならない。

(4) おひまなときに、おいでください。

(5) 雨が降るようなことはあるまい。

(6) 失敗したとしても、くじけるな。

(7) 鉄のように固い木だ。

ア どうか イ 決して ウ たとえ エ よもや オ まるで

カ たぶん キ あたかも ク かりに ケ なぜ コ 絶対に

サ まさか シ ぜび ス おそらく セ どうして

| | |
|-----|-----|
| (5) | (1) |
| (6) | (2) |
| (7) | (3) |
| | (4) |

4 次の(A)群のことばの中から仮名遣いの誤っているものを三つ選び、また、

(B)群のことばの中から送り仮名の誤っているものを三つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

| | | | | | | |
|-----|---|-----------|---|----------|---|----------|
| (A) | ア | みかづき(三日月) | イ | こおろぎ(蟋蟀) | ウ | こうり(氷) |
| | エ | おおきい(大きい) | オ | おうじ(王子) | カ | おおい(多い) |
| | キ | ちぢむ(縮む) | ク | おおい(往来) | ケ | じしん(地震) |
| | コ | はなぢ(鼻血) | サ | とおりに(通り) | シ | こずつみ(小包) |
| (B) | ア | 和らぐ | イ | 冷める | ウ | 明かり |
| | カ | 改める | キ | 幼ない | ク | 短い |
| | コ | 費やす | サ | 必ず | ケ | 難かしい |
| | シ | 損なう | ス | 承る | | |

練習問題

1 次のそれぞれの文の組み立てを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 久しぶりに 小学校の 先生から お手紙が 届いた。
- (2) 兄は 会社へ 行き、弟は 学校へ 出かけました。
- (3) 練習が どんなに きつくても、彼は ぐちを 言わない。
- (4) 私は 母が 助けて くれると 思った。
- (5) 君が 行くのなら、私は 行かない。
- (6) 列車が すごい スピードで 私の 前を 通過した。
- (7) 私が きのう 読んだ 本は とても おもしろかった。
- (8) なつかしい 故郷が しきりに 思い出される。

ア 単文 イ 複文 ウ 重文

| | |
|-----|--|
| (1) | |
| (2) | |
| (3) | |
| (4) | |
| (5) | |
| (6) | |
| (7) | |
| (8) | |

2 次のそれぞれの例文の——線部のことばの意味・用法と同じものを、あとそれぞれの文の——線部から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) これは私のささやかな贈り物です。
- ア これが私のすすめる本です。
- イ こんな問題がなぜわからないの。
- ウ それは駅の売店で買ったものです。
- エ 人の失敗を笑うのは、よくない。

□(2) あぶないから、そんなことはやめなさい。

ア 明日から二学期が始まる。

イ 成功は努力から生まれる。

ウ 寒いからセーターを着た。

エ 机は木からできている。

□(3) ボールペンで書く。

ア 犬と庭で遊ぶ。

イ 駅まで一分で行ける。

ウ 病気で苦しむ。

エ 東京まで飛行機で行く。

□(4) 社会科見学に行く。

ア 校庭に集合する。

イ 毎晩十二時に寝る。

ウ 車にひかれる。

エ 旅行に出かける。

□(5) 君と会う。

ア 母と買い物に出かける。

イ 努力して学者となる。

ウ ペンとノートを買う。

エ 友達とけんかをする。

□(6) しくじって、みんなに笑われた。

ア ふるさとの母のことがしきりに思い出された。

イ 熱があるので、学校へ行かない。

ウ 校長先生がされたお話は難しく、よくわからない。

エ 校長先生にほめられた。

| | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|-----|
| □ (5) | □ (4) | □ (3) | □ (2) | □ (1) | |
| エ | ア | エ | ア | エ | ア |
| きれいだ | 静かだ | まるで | そして | 食べる | 早い |
| オ | イ | オ | イ | オ | イ |
| おごそかだ | 暖かだ | なぜなら | しかし | 走る | 静まる |
| | ウ | ウ | ウ | ウ | ウ |
| | 本だ | 長さ | あるいは | ふれあい | 動く |
| □ | □ | □ | □ | □ | |

3 次のそれぞれの組のことばの中から、ことばのきまりの上で他とちがった性質を持っているものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

□(7) 弟は、いまにも泣きそうだ。
 ア カズオ君は東京に行くそうだ。
 イ 明日は、雨になるそうだ。
 ウ あの人は、とても強そうだ。
 エ この夏はとても暑いそうだ。
 □(8) この本は、あまりおもしろくない。
 ア 先生のことばは絶対わすれない。
 イ 彼のことは、あまり知らない。
 ウ 君が来ないので、みんなが心配しているよ。
 エ 今日は、それほど暑くない。

□

自分が読むことは「①」で、先生が読むのは「②」だ。自分をへり下る「③」が「おくする」で、人の動作を高める「④」は「おくになる」だ。しかし、電車に乗って、車掌が「乗車券をお持ちしていない方はございませんか」というのを聞いて、「⑤」ではないかと、人のまちがいに気づいても、自分が人に道をきかれると、「その交番でおききしてください」と言ってしまうのだ。むろんここは「⑥」でないとけない。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語 エ お読みになる
 オ お読みする カ きいてください キ おききになってください
 ク 持っていない方 ケ お持ちにならない方

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| ① | | | | | | | | | |
| ② | | | | | | | | | |
| ③ | | | | | | | | | |
| ④ | | | | | | | | | |
| ⑤ | | | | | | | | | |
| ⑥ | | | | | | | | | |

5 次の文章の □ に入る最も適切なことばを、あとから選び、記号で答えなさい。

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| (4) | (1) | (4) | (1) |
| A | A | B | B |
| | | | |
| B | B | (5) | (2) |
| | | A | A |
| | | | |
| | | B | B |
| | | | |
| | | (6) | (3) |
| | | A | A |
| | | | |
| | | B | B |
| | | | |

□(1) 見る □(2) 言う □(3) 食べる
 □(4) 行く □(5) 取る □(6) する

ア いらっしやる イ お取りする ウ 御覧になる エ 参る
 オ お取りになる カ 申しあげる キ 拝見する ク なさる
 ケ おっしゃる コ いただく サ 召しあがる シ いたす

4 次のそれぞれのことばの(A)尊敬語と(B)謙譲語を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。